

〈解答〉

1	①	ひんばん	2	ぎょうし	3	ていさい	4	たいだ	5	にゅうわ
6		きょうじゆ	7	こ	8	は	9	いど	10	こば
11		おさ	12	とぼ						
1	②	操縦	2	帰省	3	由来	4	散策	5	拡張
7		刻	8	預	9	臨	10	編	11	浴
									12	委
1	③	キ	2	オ	3	カ	4	ク	5	ア
9		イ	10	ウ					6	エ
									7	コ
1	④	ケ	2	キ	3	オ	4	カ	5	ク
9		ア	10	コ					6	エ
									7	イ
									8	ウ

配点 各1点 44点満点

〈解説〉

- ①
- 1 「凝」の訓読みは「こ(る)、こ(らす)」。
 - 2 「体」の訓読みは「からだ」、音読みには「タイ」もある。「裁」の訓読みは「た(つ)」「さば(く)」。
 - 3 「怠」の訓読みは「おこた(る)」。「なま(ける)」。
 - 4 「柔」の訓読みは「やわ(らか)、やわ(らかい)」、音読みには「ジユウ」もある。「享受」とは「受け取って自分のものにする事」。
 - 5 「凝」の音読みは「ギョウ」で、凝固・凝縮・凝視などの熟語がある。
 - 6 「映」の音読みは「エイ」で、映画・映像・上映・反映などの熟語がある。訓読みには「うつ(す)、うつ(る)」もある。
 - 7 「挑」の音読みは「チョウ」で、挑戦・挑発などの熟語がある。
 - 8 「拒」の音読みは「キョ」で、拒絶・拒否などの熟語がある。
 - 9 「抑」の音読みは「ヨク」で、抑圧・抑制・抑揚などの熟語がある。
 - 10 「乏」の音読みは「ボウ」で、欠乏・貧乏・窮乏などの熟語がある。
 - ②
 - 1 「操」の訓読みは「あやつ(る)」。「縦」の訓読みは「たて」。
 - 2 「帰省」とは「故郷に帰ること」。
 - 3 「由来」とは「物事が、それをもとにして現れ出ること」。
 - 4 「散」の訓読みは「ち(る)、ち(らす)、ち(らかす)、ち(らかる)」。「散

策」とは「散歩」のこと。

5 「張」の訓読みは「は(る)」。

6 「印」の訓読みは「しるし」。

7 「刻」の音読みは「コク」で、彫刻・深刻・時刻・遅刻などの熟語がある。

8 「預」の音読みは「ヨ」で、預金などの熟語がある。

9 「臨」の音読みは「リン」で、臨戦・臨時・君臨などの熟語がある。

10 「編」の音読みは「ヘン」で、編集・編入・編成・編曲などの熟語がある。

11 「浴」の音読みは「ヨク」で、浴場・日光浴・浴室などの熟語がある。

12 「委」の音読みは「イ」で、委嘱・委託・委員・委任などの熟語がある。